

2013
第12号

び~たつ!とあいち PTあ!と愛知



一般社団法人 愛知県理学療法士会広報誌

●「継(つなぐ)」—想いと技術を未来へ— ～第29回東海北陸理学療法学術大会を開催～

一般社団法人 愛知県理学療法士会
代表理事 鳥山 喜之

●公益事業活動紹介

- ・ウェルフェア2013
- ・健康増進事業／スポーツ傷害予防事業
- ・チャレンジドフェア2013 報告
- ・地域リハビリ推進事業

●理学療法って何だろう？

●理学療法って知っていますか？

●子どもの福祉機器展 ご案内

～チャレンジドフェア2014～



ポートメッセなごやで開催された
「ウェルフェア2013」
(平成25年5月24日～26日)



※詳しくは本誌にて掲載

「継(つなぐ)」—想いと技術を未来へ— ～第29回東海北陸理学療法学術大会を開催～



一般社団法人 愛知県理学療法士会
代表理事 烏山喜之



平成25年11月9日・10日に名古屋国際会議場において東海北陸7県による第29回東海北陸理学療法学術大会を開催しました。テーマは「継(つなぐ)」—想いと技術を未来へ—としました。「継」の意味を調べてみると断ち切られた一本一本の細い糸を大きな糸でまたつなぎとめることを意味します。近年専門領域別、施設機能別など専門分化、細分化され、個々に発展してきた想いや技術を大きな糸で結びつけ、理学療法をさらに進化、発展させること。会員の半分以上を占める若い世代へ、諸先輩が今まで培った想いと技術を未来へつなぐこと。また、理学療法士だけにとどまることなく、保健・医療・福祉に関わる様々な職種へ想いと技術をつなぎ、更にはそれらの職種の方々からの想いや技術をしっかりと受け止めることを考え本テーマを決定しました。

2日間の学術大会参加者数は約2,300人で228演題発表があり熱気に満ちた充実した学術大会でした。また、講師として植木理恵さんを招き「人生を楽しくする心理学」というテーマで市民公開講座を開催し約1,200人の来場者があり質問も活発で大いに盛り上りました。

さて、我々理学療法士は、昭和38年に国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院が開設してから半世紀が過ぎ、その間、学校数も増え続け平成21年には246校入学定員も13,199人となり毎年10,000人以上の理学療法士が誕生し、平成25年には110,675人と急増しました。

「理学療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示のもと「理学療法」を行うことを業とする者をいい、「理学療法」とは、身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るために、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう（理学療法士及び作業療法士法（昭和40年6月29日法律第137号）第2条）。法律が施行されてから50年が過ぎたが今まで見直されたことはありません。

平成16年1月に高齢者リハビリテーション研究会より、わが国の高齢者リハビリテーションの現状と課題、これから見直しの方向性についてとりまとめた「高齢者のリハビリテーションのあるべき方向」が報告され、欧米にはない急性期・回復期・維持期リハビリテーションという日本独自のリハビリテーションサービスの流れが提唱されました。

我々理学療法士は、理学療法の専門職で、医療の分野のみでなく介護福祉の分野でも重要な役割を担っております。そのためにも「理学療法士法及び作業療法士法」の見直しをすることにより、時代に応じた理学療法を提供できるようにならなければならないと思います。

皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いします。



代表理事と植木先生のスナップ写真

第16回国際福祉健康産業展 “ウェルフェア 2013”

国際福祉健康産業展「ウェルフェア」は高齢者や障害者の生活を支援する製品やサービスを幅広く紹介する催しであり、中部地区で最大の福祉・健康産業展として産業振興を目的に毎年ポートメッセ名古屋(名古屋市国際展示場)にて開催されています。

愛知県理学療法士会に名古屋市(名古屋国際見本市委員会)からの出展依頼を受け、5月24日(金)～5月26日(日)の3日間出展させていただきました。

ウェルフェア2013には、1日に2万人を超える来場者があり、3日間で71,014人が来場されました。その中で、愛知県理学療法士会の出展ブースにも3日間で1,138人の方に来ていただき、ブース内は常に賑わっていました。

出展ブースでは、「体力測定と運動・生活指導」、および「療育・健康・介護予防等の個別相談会」を実施しました。「体力測定と運動・生活指導」では、実際に柔軟性、筋力、バランス能力を測定し、その結果を基に理学療法士が現在の身体機能や、今後の運動・生活についての指導を行いました。参加された方々は真剣に体力測定に取り組まれ、指導にも熱心に耳を傾けておられました。なかには時間が足りないほどいくつもの疑問を投げかけて下さる方もみえました。「療育・健康・介護予防等の個別相談会」では、ご本人はもとよりご家族の保健・医療・福祉のことや、私たち理学療法士の職業に対することなど、ご質問いただきました。

毎年ウェルフェアに出展することで、来場される方々が健康、身体能力についての関心が強いことを実感することができます。「体力測定と運動・生活指導」に毎年参加していただける方もおられ、“毎年楽しみしている”という声もいただきました。今後も県民の皆様に貢献できるような公益・社会貢献事業等の活動を行っていきたいと考えております。

今回の企画に多くの方々のご協力、ご参加をいただきましてありがとうございました。
心より御礼申し上げます。



健康増進事業

平成25年11月24日(日)セカンドライフフェスティバル(於:半田市さくら小学校)において、参加者の方々の体力測定(脚力、柔軟性、バランス能力など)を行い、記録を元に運動指導・助言を行いました。本年度は、165名の方々の体力測定を行いました。

愛知県理学療法士会では、毎年本事業を開催しており一般の方々を対象に、体力測定を行い、その方の状態に応じた運動指導を行っています。

県民への健康増進、健康教育に貢献できるようこのような活動を継続していきます。



スポーツ傷害予防事業

愛知県理学療法士会は、地域のスポーツ選手や、指導者、保護者の方を対象にスポーツ傷害予防事業を展開しています。毎年、春夏の愛知県高校野球大会のメディカルサポートと名古屋市、春日井市、尾張旭市、長久手市、豊橋市などの各地域でスポーツ傷害予防講座を開催しています。

毎回、多くのスポーツ選手や、指導者の方々が参加され、傷害予防の知識を学び、スポーツ現場で実践できるような内容を提供しています。



スポーツ傷害予防教室(豊橋市)



愛知県高校野球大会メディカルサポート

子どもの福祉機器展示 ～チャレンジドフェア 2013～(報告)

平成25年3月16日(土)17日(日)、あいち健康プラザにて第7回目の「こども福祉機器展～チャレンジドフェア2013～」を開催いたしました。

今回は22社に参加頂き、車椅子、座位保持装置、歩行器、椅子や、補助具、介護用食品、トロミ材、口腔ケア用品など、多くの展示品が出展されました。

来場者は、2日間で700名近くあり、機器展への関心の高さを伺い知ることができます。来場した人からは、「身近に直接いろいろなメーカーさんと話ができるよかったです」、「福祉用具の試乗・体験ができるよかったです」という声が多く聞かれました。

愛知県理学療法士会小児福祉部では、今後も機器展などの事業の開催を通して、子どもたちが快適で楽しい生活を過ごせることや、社会参加の機会が得られることに、少しでも役立てるよう努めてまいります。

来年3月8日(土)9日(日)にも、「こども福祉機器展～チャレンジドフェア2014～」を開催予定しております。是非ご来場ください。



地域リハビリ推進事業

愛知県理学療法士会は、地域リハビリテーションの充実、推進を図る為、地域リハビリテーション研修会を開催しています。

前回は、平成25年2月2日(日)名古屋学院大学白鳥学舎に於いて、「神経難病患者様への在宅ケアについて多職種と考える」というテーマを掲げ、高木章好理学療法士より「神経難病患者様への在宅リハビリ」、富士恵美子看護師より「在宅に必要な事～私の信念～」について講演が行われ、最後は、当事者のご家族の方も交え「患者家族から在宅ケアスタッフの方へ」というテーマでシンポジウムが行われました。

理学療法士、作業療法士、看護師、言語聴覚士、ケアマネージャー、社会福祉士など多くの職種108名の方々が参加され活発な意見交換が行われました。

今後も、地域リハビリテーションを支える多くの方々に有用な研修会を企画していきます。



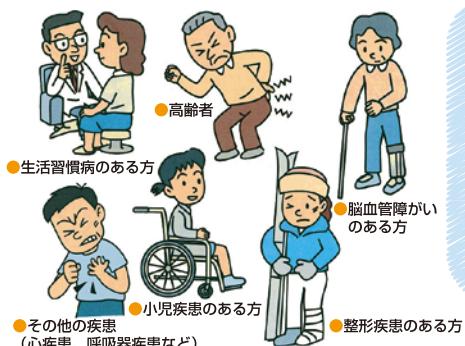
シンポジウム

Physical Therapy 理学療法 ってなんだろう?



Who

理学療法士はどんな人を診るの?



理学療法士は脳卒中・骨折・切断・高齢者・小児疾患・心臓病・呼吸疾患・糖尿病などが原因で身体を自由に動かせない障がいを持つ「すべての人」を対象としています。

リハビリテーション医学は、予防医学、治療医学に次ぐ第3の医学です。

リハビリテーションは、医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など様々な職種と協力して行われます。

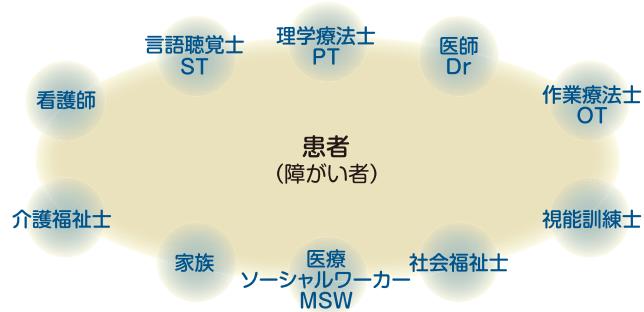
リハビリテーションチームの一員である理学療法士は、病気やケガ、寝たきりなどが原因で身体に障がいを受けた人や障がいの発生が予測される人に対して、医師の指示を受けて行うリハビリテーション医療の担い手です。

私たちは自らの手や体あるいは機械を使って障がいの改善や予防、または現状の維持を目的に理学療法を行います。

What

理学療法士はどんな事をするの?

理学療法士は障がいを持った機能の回復を促したり、歩くことや日常生活の活動の援助を行い社会に復帰するための準備の手助けをします。



Where

理学療法士はどんな所で働いているの?



理学療法士は病院をはじめとする医療施設や介護老人保健施設、保健センターなど様々な所で働いています。近年では、訪問リハビリテーションなどの地域で活躍している理学療法士も増えています。



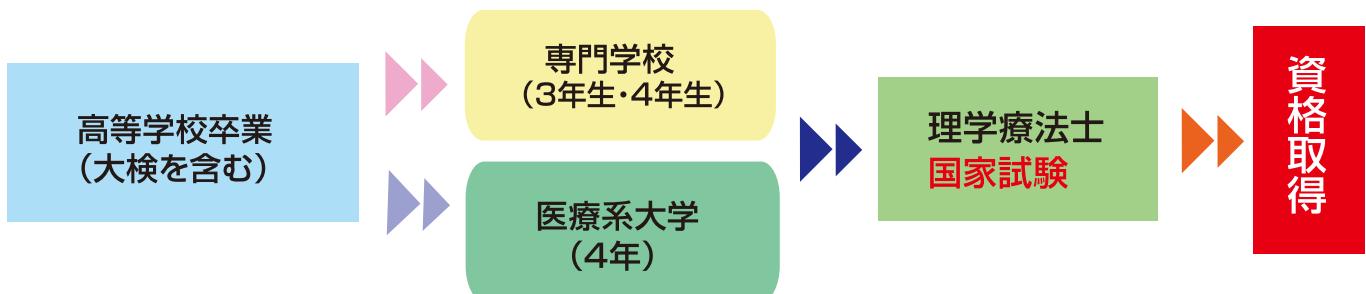
高校卒業後、厚生労働省もしくは文部科学省の定める養成校で学び、卒業時に国家試験受験資格が得られます。「社団法人 日本理学療法士協会」のホームページにアクセスすると全国の養成校一覧を見ることができます。

Physical Therapy 理学療法 って知っていますか？



理学療法士とは、検査、測定評価に基づき、何らかの疾病・傷害(スポーツを含む)などに起因する機能・形態障がいに対する運動療法による筋力・関節可動域、協調性といった身体機能、および温熱、水、光線、電気などの物理療法による疼痛、循環などの改善を図る治療科学です。また能力障がいが残ったとき、基本的動作や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケアなどが含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障がい予防も理学療法の対象になっています。

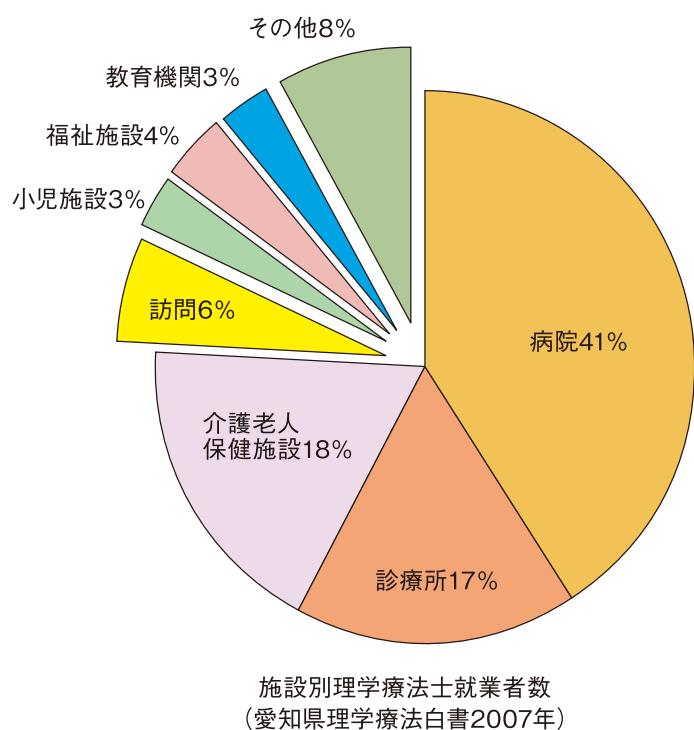
どうしたら理学療法士になれるの？



理学療法士はどういう所で働くの？

理学療法士の就職先は、大学病院・一般病院・老人病院・小児病院などの医療施設、老人保健施設や訪問PTなどの医療福祉中間施設、肢体不自由児施設や身体障がい者福祉センターなどの福祉施設、養護学校や養成校などの教育・研究施設、行政関係、スポーツ・フィットネスなどの保健関係などです。多種多様なニーズに応えて職域も拡大しています。

介護保険サービス	通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション 住宅改修・福祉用具のアドバイス
医療サービス	病院・診療所
保健サービス	機能訓練事業、保健センター 介護予防、療育相談
行政サービス	市町村、養護学校など
福祉サービス	障がい者福祉センター 障がい児(者)通所・入園施設
トータルヘルスプラン事業	健康管理、スポーツ



主催
一般社団法人
愛知県理学療法士会

入場無料

子どもの 福祉機器展

～チャレンジドフェア2014～

見たい！ 知りたい！ 試したい！



●開催日時

平成26年 3月8日(土)・9日(日)
10:00～16:00

●会場

あいち健康プラザ プラザホール

愛知県知多郡東浦町森岡字源吾1-1
TEL 0562-82-0211

●交通案内●

JR大府駅西口から知多バス12分「あいち健康プラザ」下車
知多半島道路「大府東海 IC」から10分

●問い合わせ先 ●

愛知県立心身障害児療育センター第二青い鳥学園 訓練課 山本佳司
愛知県岡崎市本宿町柳沢5-1 TEL 0564-48-2831
E-mail yamamoto_442jp@yahoo.co.jp



一般社団法人

愛知県理学療法士会

事務局 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1-12-35 1091ビル9F
電話・Fax 052-972-6295
ホームページ <http://www.aichi-pt.jp>
メールアドレス office@aichi-pt.jp

ピー太君とピーちゃん